



Convi.BASE セキュリティホワイトペーパー

1.0 版

株式会社ネットレックス

この文書について

この文書は、2022年11月時点におけるコンビベースの情報セキュリティへの取り組みと、情報セキュリティの観点からお客様にご注意いただきたい点について紹介するものです。

コンビベースは、株式会社ネットレックスが運営する、様々な物品管理を実現するためのクラウドサービスです。

お客様はコンビベースにお客様の様々な物品の情報を登録し、共有することができます。また、管理ラベルを発行して実際の物品に貼付することで、登録された情報と実物を強かに紐づけることができます。この管理ラベルをスマートフォンなどを利用して読み取ることで、棚卸しや貸出し管理などを効果的に実施しその証跡を残すことが可能です。

コンビベースでは、お客様からあずかる物品情報等のデータを、重要な機密情報として扱います。お客様の意に反して第三者に読み取られたり、内容を改ざんされることがないように、情報セキュリティに配慮して慎重に取り扱います。

なお、この文書はコンビベースのサービス本体について記述するものです。他社サービスとの連携機能や一部のオプションサービスについては、本文書の記述があてはまらない場合があります。詳細はご利用時にご確認ください。

目次

1. 利用者との責任分界点.....	4
1.1. ネットレックスの責任	4
1.2. お客様の責任.....	4
2. データ保管場所.....	4
3. データの削除	5
4. 利用者登録および削除.....	5
5. アクセス権の管理.....	5
6. 暗号化の状況	5
7. 変更管理	6
8. バックアップの状況	6
9. 脆弱性に関する情報	6
10. 開発におけるセキュリティ情報.....	7
11. セキュリティを実現する機能・オプション.....	7
11.1. 二要素認証 (標準機能).....	7
11.2. アカウントロック (標準機能)	7
11.3. パスワードポリシー (標準機能).....	7
11.4. IP アドレス制限 (標準機能).....	7
11.5. 役割機能 (標準機能).....	8
11.6. 履歴・ログ機能 (標準機能).....	8
11.7. SAML 認証 (オプション機能).....	8
12. インシデント発生時の対応	8
13. お客様データの保護および第三者提供について	8
14. 適用法令	9
15. 認証.....	9
15.1. 登録範囲.....	9
16. 免責.....	10
改訂履歴.....	11

1. 利用者との責任分界点

1.1. ネットレックスの責任

ネットレックスは、以下のセキュリティ対策を実施します。

- コンビベースアプリケーションのセキュリティ対策
- コンビベースアプリケーションに保管されたお客様データの保護
- コンビベースアプリケーションの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

1.2. お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティおよびプライバシー保護の対策を、お客様のセキュリティポリシーおよびプライバシーポリシーにもとづき実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- コンビベースアカウントの適切な管理（登録、削除、権限設定など）
- コンビベースに登録する個人情報の取扱いに関する適切な管理（利用目的の通知、公表その他の個人情報保護法上必要な対応）

2. データ保管場所

コンビベースのデータは国内のデータセンターに保管しています。

システムのデータとバックアップのデータは異なるデータセンターに保管しています。

3. データの削除

お客様がサービスを解約した場合、一定の期間が経過した後、システムのデータ及びバックアップのデータは全て削除されます。

4. 利用者登録および削除

お客様は、契約時に取り決めたライセンス数の範囲内で、ユーザーを自由に追加・削除できます。

5. アクセス権の管理

コンビベースは、役割設定機能により、利用者の役割に応じて利用できる機能や、閲覧できるテーブル・ビューを細かく設定できます。

役割を定義することにより、お客様のセキュリティルールに準拠したアクセス設定を実現できます。

6. 暗号化の状況

コンビベースサーバーとクライアント間の通信は TLS 1.2 で暗号化されています。通信を暗号化することで、データの漏洩や改ざんを防止しています。

お客様の入力したパスワードについてはハッシュ化された状態で保存されます。ソルトやストレッチングも実施しています。

7. 変更管理

コンビベースのアップデートは事前に予め登録された担当者のメールアドレスに送付されます。

ただし、すぐに悪用可能な脆弱性が見つかった場合など、緊急度の高い場合には予告なくアップデートを実施する場合があります。

過去のリリースについては、下記リンクよりリリースノートを閲覧できます。

- <https://convibase.jp/information/release/>

8. バックアップの状況

コンビベースはシステムのデータに対して、日次でバックアップを実施しています。バックアップは7世代分を保管しています。

9. 脆弱性に関する情報

コンビベース自体の脆弱性は、第三者が提供する脆弱性チェックサービスを利用し、継続的にチェックしています。

コンビベースが利用しているライブラリについては自動で脆弱性を検知する仕組みを導入しています。

プラットフォームの脆弱性については、継続的に脆弱性情報を収集し、対応しています。

10. 開発におけるセキュリティ情報

コンビベースの開発は、原則としてコードレビューが必須であり、不正なソースコードが混入することはありません。

11. セキュリティを実現する機能・オプション

11.1. 二要素認証（標準機能）

ID・パスワードに加えて TOTP ベースのワンタイムパスワードを認証の要素としてご利用いただけます。

11.2. アカウントロック（標準機能）

一定期間内にパスワードを連続して間違えた場合に、以降のログインをロックする機能をご利用いただけます。

11.3. パスワードポリシー（標準機能）

お客様のセキュリティルールに合わせて、パスワードの最小文字数を設定できます。

11.4. IP アドレス制限（標準機能）

コンビベースにアクセスできる IP アドレスを制限できます。

11.5. 役割機能（標準機能）

コンビベースは、役割設定機能により、利用者の役割に応じて利用できる機能や、閲覧できるテーブル・ビューを細かく設定できます。

役割を定義することにより、お客様のセキュリティルールに準拠したアクセス設定を実現できます。

11.6. 履歴・ログ機能（標準機能）

データを変更した記録が履歴・ログとして残ります。

11.7. SAML 認証（オプション機能）

お客様が利用している SAML IdP を用いてシングルサインオンがご利用いただけます。

12. インシデント発生時の対応

セキュリティインシデントが発生した場合は、ネットレックスの判断に基づき、電子メールその他の1つまたは複数の手段によりお客様の管理者に連絡します。

13. お客様データの保護および第三者提供について

お客様から預かったデータを適切に保護することは、ネットレックスの責任です。ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、コンビベース開発チームの一部の人間しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。

但し、裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータの提供を要請された場合、ネットレックスは、お客様の許可なく、必要最小限の範囲で、お客様情報を外部に提供する可能性があります。

14. 適用法令

お客様とネットレックスとの間の契約は、日本法にもとづいて解釈されるものとし
ます。

15. 認証

ネットレックスは情報マネジメントシステム認定センターが運営する ISMS 適合性評価
制度における ISMS 認証を取得しています。

情報セキュリティマネジメントシステムの国際的な標準規格である 「 BS7799 」、
「 ISMS 適正評価制度 」を 2005 年 6 月 29 日に取得しました。その後 「 BS7799 」
の ISO27001 化にともない 「 ISO/IEC27001 」及び 「 JISQ27001 」に 2006 年 7 月
25 日移行を完了しました。

15.1. 登録範囲

- 情報システムの開発及び ASP サービスの提供
- 資産管理業務のアウトソーシングサービス
- 適用宣言書 第 6 版

【他の事業所】

- 株式会社ネットレックス フィールドサービス

16. 免責

コンビベースは、次に示す機能を運用するために外部のクラウドサービスを利用しています。本セキュリティホワイトペーパーに記載されている内容は、下記のクラウドサービスにて管理されている範囲には及ばず、また、その内容の遵守を保証するものではありません。

クラウドサービス	機能	運営会社
さくらインターネット	インフラ構築・運用	さくらインターネット
Amazon Web Service	インフラ構築・運用	Amazon Web Service
Zendesk	カスタマーサポート	Zendesk
Trello	カスタマーサポート	Atlassian
Twilio SendGrid	メール送信	Twilio.inc
SATORI	メール送信	SATORI
Active! gate	メール誤送信対策	QUALITIA

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2022/11/24	初版発行